

保育施設におけるクラスターの発生について（第１報）

令和３年１０月２日（土）、本市内の市立保育施設において、感染対策を行っている中で、クラスターが発生しました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びＰＣＲ検査を適切に実施することとしています。

１ 経緯等

- ・ ９月３０日（木）、本市内の市立保育施設の園児２名が、陽性患者の濃厚接触者として、ＰＣＲ検査を受検したところ、同日、両名の陽性が確認されました。
- ・ このため、１０月１日（金）、患者と接触の可能性のあった職員１１名及び園児５５名のＰＣＲ検査を実施したところ、翌日、園児４名の陽性が確認されました。
- ・ また、１０月１日（金）、同施設の園児１名が体調不良のため、医療機関を受診し、ＰＣＲ検査を受検したところ、同日、陽性が確認されました。

結果判明日	人数	公表日
９月３０日	２名	１０月１日
１０月１日	１名	１０月２日
１０月２日	４名	１０月３日

- ・ 患者は全て自宅で療養しています。
- ・ 家族からの申告によれば、発症前１４日以内に渡航歴はありませんが、２名は県外への往来があります。

２ 患者概要

(１) 年代

区分	１０歳未満
園児	７

(２) 居住地

広島市

(３) 症状

軽症または無症状